



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2013～2014 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「楽しい時(例会)が素晴らしい人生(ロータリー)を創る」

◆会長 山本 辰男 ◆幹事 中田 専太郎 ◆会報委員長 前越 路子 ◆会報担当 今井 俊治

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 978 回	51 名	50 名	45 名	—	90.00%
前々回 976 回	51 名	50 名	46 名	1 名	94.00%

<点 鐘> 会長 山本 辰男  
<ロータリーソング> それでこそロータリー

<会長の時間> 会長 山本 辰男

先週・先々週と例会は休みでした。皆さんの顔が見えなかったのがとてもさみしかったです。

しかしロータリーの事業は大変多くて事務所の引っ越し準備、宮中出前講座、白川中職場体験受入れ、引越し、それから荷物の整理、I・M等大変でした。

大原さんありがとうございました。今度の事務所は大変すばらしい環境です。眼下に中橋、陣屋前広場が見えますし、広さも倍ぐらいになったと思います。委員会や、理事役員会ぐらいの会議は十分にできそうです。その上格安で本当にありがとうございました。それぞれの事業に参加された人、又、引越しのお手伝いをして頂きました皆さんありがとうございました。高山中央ロータリークラブの素晴らしい団結を見たような気がします。

この団結力と広い事務所をもってすればガバナーの話が来ましてもいつでもお引き受けできると心から思いました。皆さんその節は一致団結をお願いします。

さていよいよ秋も深まってきました。中秋の名月も終わり秋彼岸も終わり今秋真っ盛りです。今年は、幸いきのこ類は豊作で少し安いようですが秋刀魚は少し高いようです。松茸の土瓶蒸しと、脂の乗った秋刀魚を塩焼きにし、大根おろしに酢橘を絞って日本酒をぐいとかがでしょうか。

白玉の歯にしみとほる秋の夜の

酒はしづかに飲むべかりける

若山牧水の歌です

それに追加でイクラの醤油漬け、塩炒銀杏、メはこけ飯、又肥ってしまいそうです。

今日はI・Mの発表です。後程皆さんにお話をしますが、私も感想を一言、中日新聞社の現役の社長さんが講師でしたが、記者上がりなのかペランメー調のしゃべりで更に顔はゴリラ顔、しかし大変博学で過去からつながる今と、現代の世相のもう一方からの見方をお話して頂きました。是非発表者の感想を楽しみに。



<幹事報告> 幹事 中田 専太郎

◎国際ロータリー本部より

・ザ・ロータリーアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・10 月ロータリーレートのお知らせ

1 \$ = 100 円

・ロータリーの友・ガバナー月信への投稿のお願い

・インターアクト韓国派遣報告書

○高山ロータリークラブより

・例会休会のお知らせ

10 月 10 日 (木) 定款により休会

<高山市市民活動推進課より>

・講師派遣について

<JHP 学校をつくる会事務局より>

・JHP ニュース

・2013 年カンボジアスタディーツアーのご案内

・JHP 学校をつくる会 20 周年記念の集い

・2014 年チャリティーカレンダー

・第 8 回小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ

・Book Smile

・映画「ペコロスの母に会いに行く」

・10/20(日)活動隊報告会&募集説明会

< I ・ M 報告 >

大保木 正博

9 月 28 日加茂東 RC をホストとして開催された濃飛グループ IM の報告をさせていただきます。



クラブ員 11 名の小規模クラブの加茂東 RC ですが全員で協力して成功裡に開催されました。加賀修ガバナーのお話の中では、特に会員数が 5000 から 3000 に激減している現在、まさに「脚下照顧」で足元を今一度照らして見直していかなければならないというお話が特に考えさせられました。特別講演で講演された中日新聞社社長の小出宣昭様のお話は大変すばらしい内容でした。多くの内容から私が特に印象に残ったお話の一部をご紹介しますと思います。

①は全てがデジタル至上となっているが、デジタル文化とは何かを考えねばならない。デジタルは途中(プロセス)を飛ばしている。例えば時計が 56 分から 57 分になるとき、デジタルは一気に 56 から 57 に「カチッ」と変わる。アナログは、「カチカチカチ」と短針が 360 度回転して 57 分となる。

人生もデジタルで考えれば、生の次はすぐ死となる。しかしアナログでは、生まれて小学校に入り、大人になり結婚して子供が生まれ親との別れがありやがて自分が死を迎える。

プロセスに大きな意味がある。デジタル一辺倒になることなくアナログ的思考の意味にも十分配慮しながら発展していくことが重要。

②イギリスで日本のように電車で普通列車より高い急行料金を設定するための法律が議会にかけられたことがある。結果は否決された。急行列車は停車駅が少ないから、慣性力で走ることができるから燃料消費量が少ない。また停車駅が少ないから必要な駅員数も少なくて済む。鈍行列車は燃費も悪く、駅員も多くなる。急行列車のほうが高いのはおかしいではないかというのが否決の理由であった。日本の新幹線は一番安く済むはずの列車なのに一番高い、だから儲かるのだ。視点の違いであるが日本人のものの見方も今一度見直す必要がある。

③アラブ諸国の問題が野蛮なこととして報道されることも多いが、こうした事象を見ると、歴史を参考に考える必要がある。イスラムの国は今 14 世紀なのだ。キリスト教の文化圏は 14 世紀どうであったか。ギロチン処刑があり魔女狩りがあった血塗られた世紀だったではないか。日本も 14 世紀は殺戮の戦国の時代だったではないか。こうした視点で見えていくと、アラブ諸国とも接近できるものだ。

まさにジャーナリストとしての多角的な視点と圧倒的博識を駆使されたお話であつという間の 90 分間、最高の講演でした。

### 岩本 正樹

今回の IM に参加しての感想を述べさせていただきます。まず、加茂東ロータリークラブの皆さんには 11 人という少人数で、多少やらかしてしまっただけの部分もありましたが、おもてなしの心だとか誠意が伝わってきたいい IM だと感じました。



特別講演では、中日新聞社長が 90 分に渡り「記者の目から見た日本」という演題で講演をされましたが、その中で私が特に印象に残ったお話を 1 つ紹介させていただきます。

それは日中関係のお話の中で、日本は中国に歴史上 2 つの大きな借りがあります。1 つは敗戦時に中国南部に残っていた 110 万人といわれる日本兵をかかえられた蒋介石は「恨みにむくえるは徳をもってせよ」といって、虐殺などの行為を一切禁じ、そのお蔭で 10 ヶ月以内に無地帰国する事が出来たそうです。もう一つは国交正常化の時、周恩来は戦時賠償金の放棄を約束したことです。このことについては賛否両論あるとは思いますが、シベリア抑留や韓国に支払った賠償金を考えると、あの中国がねと、ちょっと考えさせられました。

最近の尖閣諸島などで、私も中国嫌いと感じてきましたが、両国の人たちが歴史的な経緯をちゃんと勉強して冷静にならないといけないなと感じました。この話のように小出社長の講演は日本を客観的に記者の視点から見た興味深い内容が沢山の講演でした。

### 今井 俊治

先日、国際ロータリー第 2630 地区、濃飛グループ 2013-2014 年度のインタシティ・ミーティングに参加させていただきました。



加茂東ロータリークラブの主催で、いつものシティホテル美濃加茂にて特別講演が行われましたのでその感想を中心に述べたいと思います。

講演者は中日新聞社代表取締役の小出宣昭氏で「記者の目から見た日本」という演題で話されました。

小出氏は 1944 年(昭和 19 年)名古屋生まれ、早稲田大学第一政経学部を卒業後、中部日本新聞社入社され、名古屋本社編集局長、常務などを務められ 2011 年に代表取締役となりました。

愛煙家としても有名で、また大のデジタル嫌いということで今回の内容も後半は「アンチ・デジタル論」が中心でした。質疑応答の時間ありませんでしたので今日は少しだけ小出氏に反論を試みてみたいと思います。

小出氏の主張では、時計やスマホをはじめ世の中はみなデジタル化している。デジタル化には途中の過程の切り捨てがあり、たとえば人生をデジタル化したら、「生」と「死」しかなくなってしまうが、「生」と「死」の間のアナログのプロセスこそ本当の人生の意味があるはずであるということでした。

たしかに、その通りではありますが「デジタル」と「アナログ」の 2 種類に分けることこそ「デジタル」なのではないでしょうか？

ソ連とアメリカの冷戦終了以後、軍事的な技術の公開によりデジタル機器が飛躍的發展をしたのも事実ですがデジタル機器やその技術は、はさみや物差しと同じ単なる道具だと私は考えています。それを使うか使わないかは基本的には個人の選択ではないでしょうか。スマホを操作しなが

谷口 欣也

ら歩いたりして危険な行為となるのは論外ですが、電車やバスの席で本や新聞を読まずにスマホをいじくっているのも「モラル」の問題を除けば個人の選択だと思います。また、音楽のデータに関しても最近アナログレコードが見直されたりもしていますが CD などのデジタル録音との違いを聞き分けられるのはすべての人ではないですし、デジタル化によって雑音がほとんどなく、気軽に聞くことが出来るなど利点もたくさんあると思います。新聞社自体もデジタルの恩恵を受けています。以前は高山の新聞は前日の夕方過ぎあたりに印刷されるため名古屋の新聞と異なることがたくさんありましたが今はデジタルでデータが遅れるるためにほぼ同じような紙面を見ることができるようになったようです。もちろん、すべてがデジタルで解決するわけではなく小出氏の言われるように人と人が接するときはアナログであり、プロセスが大切だと思います。ですので、アナログ、デジタルのどちらかではなく両方をうまく使い分けてこそ充実した生活を送れると私は信じています。生意気なことも言いましたが以上で講演の感想とさせていただきます。

### 清水 幸平

小出宣昭氏の特別講演の中から心に残った事をお話します。



講師はたいへん博学な方で、新聞記者として活躍された経験から、感銘を受けるお話をお聞きすることが出来ました。日本人は、バスに乗り遅れるのを嫌い便利な物に弱い特性がある。アナログは時代遅れとばかり何でもデジタルに走るがそれでいいのか。デジタルは途中経過を切り捨ててしまいが、物事はプロセスが大事である。人間の一生も生から死までのプロセスが人生であり、生から死へ瞬時に切り替わるデジタル的ではない。日本は中国に二度の借りがある。一回目は、戦後の中国からの引き上げの時です。南方にいた人々や北にいた人は、捕虜になったりして大変苦労したが、中国にいた日本人は中国の配慮で速やかに帰国できた。二回目は、日中国交正常化の時の戦後賠償の時です。韓国の莫大な補償の経験から、中国も大きな補償を請求してくるか心配したが、周恩来首相は請求してこなかった。中国は反日感情を持っていることが前提であり、ナショナリズムに火をつけてはいけません。歴史を冷静に見る様にならなければいけません。アジア、アラブの各国のものの考え方は違っているので、物差しをいっぱい持って国々と付き合っていかなければならない。まだまだ興味深いたくさんのお話がありました。機会があればもう一度ゆっくり拝聴したいと思います。

私も皆さんと同様、一番印象に残った中日新聞小出社長の講演内容についてお話ししたいと思います。最後の発表ということで、皆さんの発表にはなかったことを断片的にお話しします。



小出社長は「ホットな話題」ということで、今年 5 月半ばに安倍首相と 2 時間半に渡り会食した時に感じた首相の印象から話し始めました。品の良さ、日銀総裁に黒田氏を指名した件に関しては既に報告がありましたが、アベノミクスによるデフレからの脱却、インフレへの期待は月給が上がるという点で若者に与えるインパクトが大きい。しかし目標の 2% では月給が 2 倍になるのに 35 年もかかる。東京オリンピック招致の歳、「福島第一原発の汚染水は完全に制御されている」と、ウソを言ったのは良くなかった。日本ではつじつまが合えばウソがあっても通るが、欧米ではウソはだめ。政治家が女性問題で失脚することがあるが、それは女がいたからではなく、「女はいない」と言ったウソがばれたから。中華人民共和国の「人民」や「共和国」という熟語は日本人が作った、という話にも既に報告がありました。宗教や言語はもともと中国から渡ってきたが、明治以降は日本から中国へ輸出している。明治時代、日本には多くの偉人がいた。そのひとりであり、「脱亜入欧」を唱えた福沢諭吉は欧米文化を積極的に取り入れながらも、「くれぐれ目に見えないものから取り入れよ」と、姿形だけではなく、まずは物事の本質を見極める大切さを論じた。



# 2013-2014濃飛グループIM



## <ニコニコBOX>

一昨日は、インターシティ・ミーティングに総勢 14 名で参加してまいりました。実りのある一日ではなかったかなと思っております。  
**理事役員一同**

IM、ご苦労様でした。新しい世界が開けたような気がします。  
**内田 茂**

28 日の IM 参加の皆様、ご苦労様でした。特に最後までお付き合い頂いた劔田さん、岩本さんありがとうございました。  
**三枝 祥一**

待つこと 8 年。やっと docomo で iPhone を Get することが出来ました。とても幸せです。フリーズも電池の消耗問題からも解放されましたのでニコニコへ。  
**高木 純**

先々週のメーキャップをはじめて、E クラブでしました。時間は夜の 11 時 30 分です。手続きも極めて簡単でメーキャップ。男の私には強い味方です。皆様も一度どうぞ。

**大保木 正博**

9/22 やっと娘があっけなく嫁に行きました。セブンスターの皆様にはご足労をお掛けした上にお祝いまで頂きありがとうございました。感謝の気持ちをニコニコへ。

**高原 清人**

本日はニコニコの集まりが悪かったのでニコニコ係として責任を感じて・・・ニコニコへ。と思ったんですが、最後に高原 清人さんの大口でホットしています。

**島 良明**